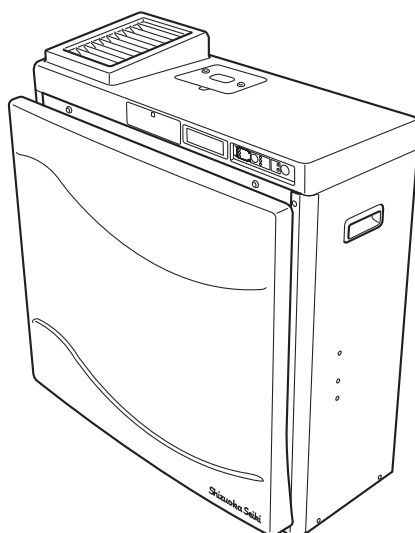


除菌脱臭機能付加湿機（業務用）

HSE242



取扱説明書

ユーザー様向け

この度はシズオカの除菌脱臭機能付加湿機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで製品を正しくお使いください。
取扱説明書は、製品内の取説ホルダーに入れて大切に保管してください。

〓 静岡製機株式会社

まえがき

この取扱説明書には、本製品を安全に、正しくお使いいただくため、必ずお守りいただきたい注意事項が表示されています。

その注意事項は  **危険**、 **警告**、 **注意** に区分されています。表示内容をよくご理解いただき本文をお読みください。

危険

この表示を無視して、誤った「取り扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。

警告

この表示を無視して、誤った「取り扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の可能性が想定される内容を表示しています。

注意

この表示を無視して、誤った「取り扱い」をすると、人が障害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

 **注意** の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

要点

正しい使用方法やお手入れのポイントを表示しています。

保証については、「保証について（16 ページ）」を参照ください。

不許複製

名称：除菌脱臭機能付加湿機 HSE242
部品番号：50825-200-001
発行：静岡製機株式会社
2017 年 6 月

もくじ

1. 特に注意していただきたいこと.....	1	8. 故障・異常時の処置.....	15
2. ラベルの一覧.....	3	8.1 警報の表示が点灯、点滅したとき.....	15
3. 仕様.....	4	8.2 警報表示以外の異常.....	16
仕様一覧.....	4	9. アフターサービス.....	16
4. 各部の名称と機能・安全装置の説明....	5	保証について.....	16
4.1 各部の名称.....	5		
4.2 安全装置の説明.....	7		
4.2-1 送風ファンモーター過熱保護.....	7		
4.2-2 満水センサー.....	7		
4.2-3 ファン回転異常.....	7		
4.3 機能の説明.....	7		
4.3-1 加湿.....	7		
4.3-2 除菌、脱臭.....	7		
4.3-3 送風.....	7		
4.3-4 アフターラン（乾燥運転）.....	7		
4.3-5 ロック（誤操作防止）.....	8		
4.3-6 入・切・24H タイマー.....	8		
5. 使いかた.....	9		
5.1 使用時の注意事項.....	9		
5.1-1 運転前チェック.....	9		
5.1-2 運転時の注意.....	9		
5.2 運転の手順.....	9		
5.2-1 運転の準備をする.....	9		
5.2-2 時刻を設定する.....	9		
5.2-3 運転モードを選ぶ.....	9		
5.2-4 運転を始める.....	10		
5.2-5 風量を調整する.....	10		
5.2-6 運転を止める.....	11		
5.3 入・切・24H タイマーのセット.....	11		
5.3-1 使用するタイマーを選ぶ.....	11		
5.3-2 入・切タイマー時刻を設定する..	11		
5.3-3 タイマーを解除する.....	11		
5.4 消臭剤の使用.....	11		
6. お手入れ.....	13		
6.1 プレフィルターの掃除.....	13		
6.2 消臭剤の点検.....	14		
7. 定期保守点検.....	15		
部品交換基準.....	15		

1. 特に注意していただきたいこと

危険

- 感電防止のため、アースは必ず取り付けてください。また、漏電ブレーカを設置したコンセントを使用してください。
- 屋外、および水のかかる場所では使用しないでください。また、濡れた手でスイッチを操作しないでください。感電する恐れがあります。
- 異常を感じたとき（異音、漏水、異臭など）は、すぐに運転を停止してください。異常のまま運転し続けると、重大な故障、感電、火災の原因になります。
- 電源コードは、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり挟み込んだり、加工しないでください。また、電源コードの上に重いものを載せないでください。コードが破損して、火災や感電の原因になります。

警告

- 取り付けは、設置業者に依頼してください。取り付け工事に不備があると、水漏れや感電、火災などの事故の原因になります。
- 保守点検業者による定期保守点検を必ず実施してください。定期保守点検を行わなかったり不備があったりすると、水漏れや感電、火災の恐れや、安全衛生上のトラブルが発生する恐れがあります。
- 水道法、消防法などに規制される部材の取り扱いについては、設置業者に確認してください。
- 改造は絶対にしないでください。部品交換を含め、修理は弊社または保守点検業者にご相談ください。修理に不備があると水漏れや感電、火災などの事故の原因になります。
- 日常のお手入れを行うときは、必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから外してください。
- 吹き出し口に指や棒を入れないでください。けがをする恐れがあります。

1. 特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

- 本製品は、病院空調など、特に清浄度を必要とする空調設備には使用できないことがあります。設置する場合は弊社までご相談ください。
- 製品の吸い込み口は十分に空間をとってください。壁で囲ったり、シート・カーテンなどで塞ぐと風量不足となり、性能低下の恐れがあります。
- 製品の吹き出し口には物を置かないでください。風量不足となり、性能低下の恐れがあります。
- 本製品の上面に物を置かないでください。重さで上面が変形したり、故障の原因になります。
- 製品は直射日光の当たらない場所に設置してください。変形や変色の原因になります。
- 製品は水平な場所に設置してください。水平に設置しないと漏水の恐れがあります。
- 給水の水質は、水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。水質が不適当な場合は、漏水の恐れや室内の空気の汚れの原因になることがあります。また、この場合は保証の対象となりません。
- 加湿機を運転しないときは、加湿エレメントが濡れた状態で長時間放置されることは望ましくありません。必ずアフターランを行ってください。やむをえず中止した場合も再度アフターランを行ってください。（アフターランについては、「4.3-4 アフターラン（乾燥運転）（7 ページ）」を参照してください。）
- 長期間加湿運転をしない場合は、保守点検業者に連絡して排水タンク内の水やホース内の水を捨ててください。水が残っていると不衛生になります。

⚠ 注意

- 粉塵やオイルミスト、腐食性ガスが浮遊している環境では使用しないでください。故障の原因となります。
- 水が凍結する環境では使用しないでください。ホースや部品が破損する恐れがあります。休止中、凍結の恐れがある場合は水抜きを行ってください。

要点

- 臭いが気になる場合は、消臭剤を入れてご使用ください。
- 夜間に連続して加湿運転を行う場合、23 時～4 時の 5 時間は除菌のため自動で乾燥運転に切り替わります。このとき、加湿ランプは点灯状態のままですが、加湿運転は行いません。

2. ラベルの一覧

① 取扱注意ラベル、②消臭剤投入口ラベル

取扱注意ラベル、消臭剤投入口ラベルは、製品を安全にお使いいただくための重要なものです。はがしたり、汚したりしないでください。ラベルの文字が消えたり、読みにくくなった場合は、販売店に注文して貼りかえてください。

③ 仕様ラベル

品名・型式・製造番号と本製品の仕様が記載されています。

製造番号を巻末の製品保証書の製造番号欄に必ず記入してください。

①取扱注意ラベル

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

警告

- ・保守点検業者による定期保守点検を必ず実施してください。
- ・吹き出し口に指や棒を入れないでください。

注意

- ・製品の吸い込み口はシートやカーテンなどで塞がないでください。
- ・製品の吹き出し口に物を置かないでください。
- ・加温運転終了後は必ずアフターラン（加温エレメント乾燥運転）を行ってください。
- ・長期間加温運転をしない場合は、保守点検業者に連絡して製品内の水を捨ててください。

・夜間の一定時間（5時間）は、加温ランプは点灯のままですが、除菌のための乾燥運転に切り替わります。

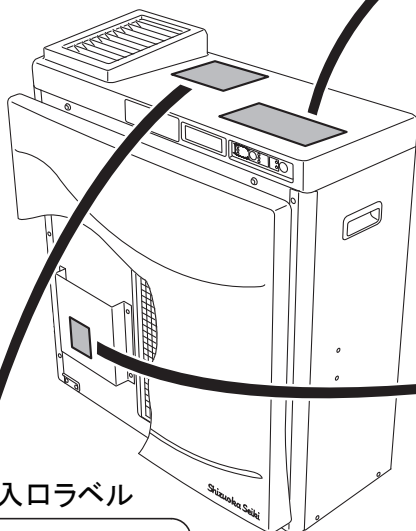
1. 設定パネルを開けて加温・除菌・脱臭ボタンを押して、お好みの運転モードに設定します。

運転モード	ランプ表示	機能
加温	加温ランプ点灯	お部屋の温度を上げます。
除菌・脱臭	除菌・脱臭ランプ点灯	お部屋の除菌やにおいをとります。
加温および除菌・脱臭	加温・除菌・脱臭ランプ点灯	お部屋の温度を上げて、除菌・脱臭もおこないます。
送風	送風ランプ点灯	お部屋の空気を循環させたり、ホコリや花粉を除去します。 (すべての運転モードに自動的に付加されます。)

2. 操作パネルの「運転 入/切」ボタンを押すと、各種ランプが点灯し設定した運転モードで運転が始まります。もう一度「運転 入/切」ボタンを押すと運転が停止します。加温運転モードがオンの場合、3時間のアフターラン（加温エレメント乾燥運転）を行ってから停止します。

3. 運転中に「風量切替」ボタンを押すと、風量が変わります。風量が多いほど加温能力、除菌・脱臭能力、ホコリや花粉を除去する能力が上がります。

>PET< 50825-200002



②消臭剤投入口ラベル

消臭剤投入口

- ・消臭剤を投入するときは、運転を停止してください。
- ・消臭剤投入は1回に2回必要です。
- ・点検ランプが点灯した際はプレフィルターの掃除と、消臭剤の残量を点検してください。

③仕様ラベル

仕 様			
品 名	除菌脱臭機能付加湿機		
型 式	HSE242		
		50Hz	60Hz
標準 加湿量 (kg/h)	強	2.2	2.4
	中	2.1	1.9
	弱	1.9	1.6
風 量 (m³/min)	強	14.7	15.4
	中	13.1	13.0
	弱	11.5	9.9
定 格 電 圧		100V	
定 格 消費電力		128 / 154W	
定 格 周 波 数		50 / 60Hz	
給水最大許容圧力		0.5MPa	
製造番号			
>PET< 50825-201011			

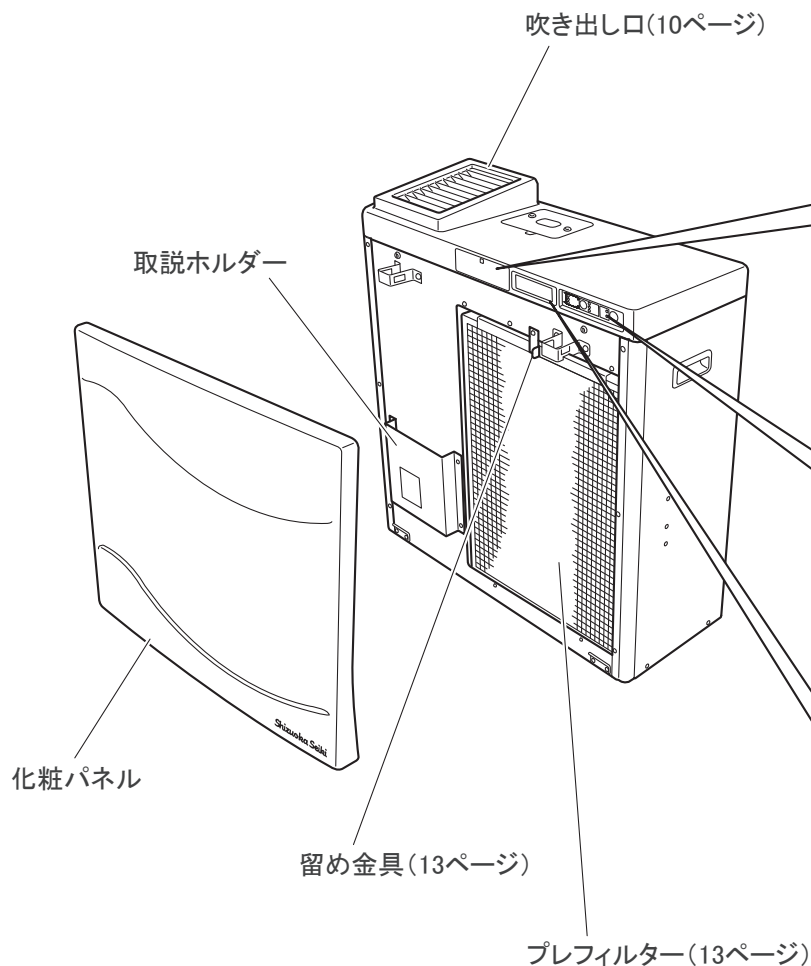
3. 仕様

仕様一覧

		50 Hz	60 Hz
型式		HSE242	
電源		AC 100V	
標準加湿量 (kg/h)	パワフル	2.2	2.4
	標準	2.1	1.9
	ソフト	1.9	1.6
風量 (m ³ /min)	パワフル	14.7	15.4
	標準	13.1	13.0
	ソフト	11.5	9.9
消費電力 (W)	パワフル	128	154
	標準	105	127
	ソフト	92	102
安全装置		送風ファンモーター過熱保護、満水センサー、ファン回転異常	
運転音 (dB)	パワフル	44	
	標準	42	
	ソフト	36	35
外径寸法 (mm) (W × D × H)		780 × 390 × 887	
質量 (kg)		40	
中性能フィルター		捕集効率 90%以上 (JIS B 9908 形式 2 法による)	
除菌、脱臭方式		オゾンによる除菌、脱臭	

4. 各部の名称と機能・安全装置の説明

4.1 各部の名称

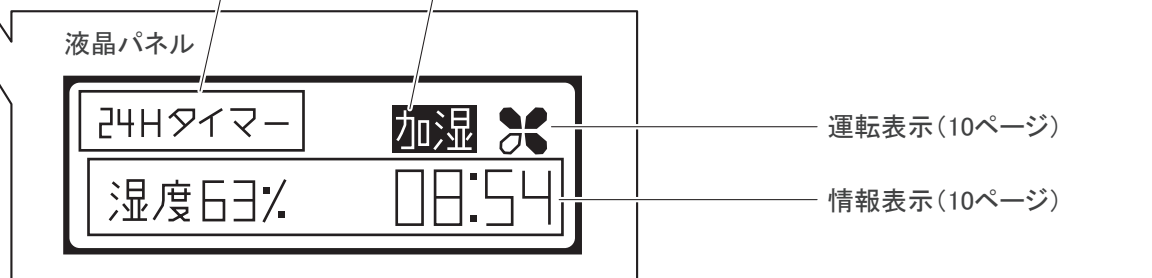
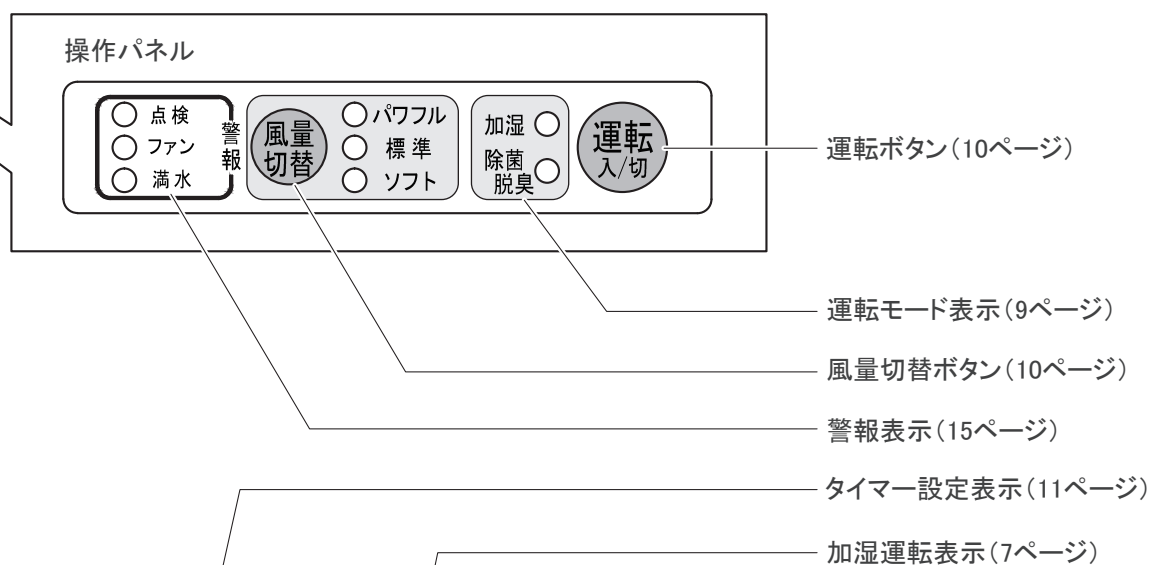
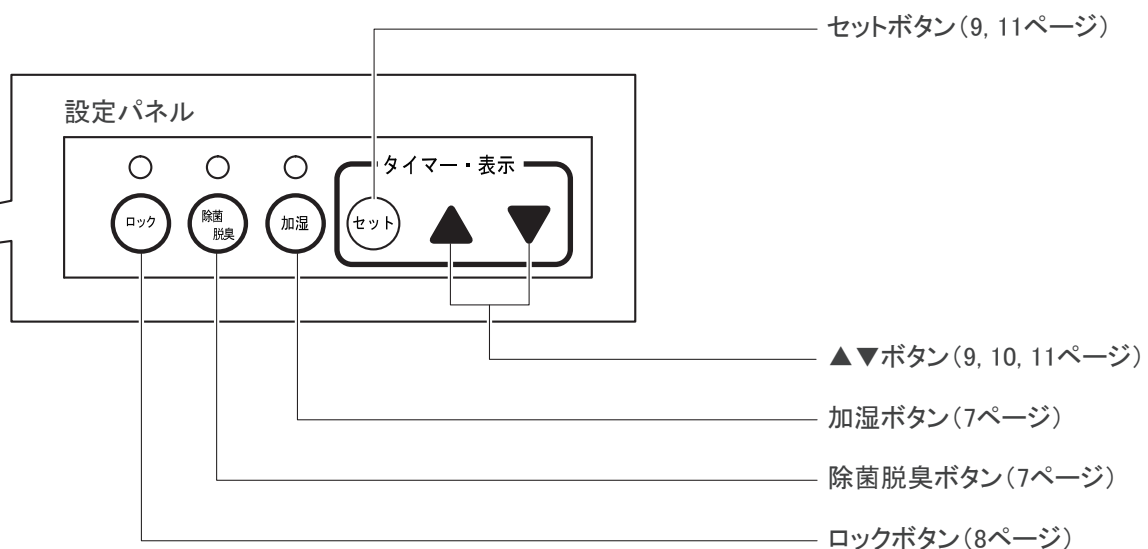


同梱品

- 製品本体
- 取扱説明書（本書）
- 施工説明書
- アースコード

オプション品

- 転倒防止キット：地震による転倒を防止する吊り金具です。
 - 水受け皿：万が一の漏水に備えて製品の底面に敷く水受けです。
- ※オプション品の取り付けは、設置業者に依頼してください。



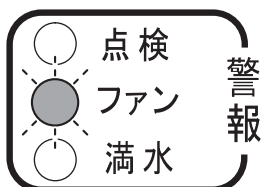
4. 各部の名称と機能・安全装置の説明

4.2 安全装置の説明

4.2-1 送風ファンモーター過熱保護

モーターに過電流が流れ過熱すると電気回路を遮断します。

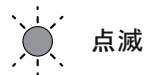
作動状態は全停止です。



※ランプの表示



点灯

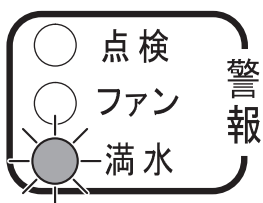


点滅

4.2-2 満水センサー

排水タンクの水が満水になることを検知します。

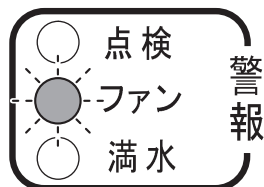
作動状態はアフターラン後、全停止です。



4.2-3 ファン回転異常

ファンが異物にあたっていたり、軸受けの摩擦です。

作動状態は全停止です。



4.3 機能の説明

4.3-1 加湿

お部屋の湿度を上げる機能です。

4.3-2 除菌、脱臭

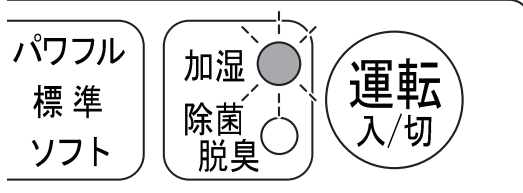
ノロウィルス、インフルエンザ予防およびお部屋のにおいを取る機能です。

4.3-3 送風

お部屋の空気を循環させたり、ホコリや花粉を除去する機能です。送風運転モードはすべての運転モードで自動的に付加されます。運転モードを選ばずに運転を開始すると送風モードになります。

4.3-4 アフターラン（乾燥運転）

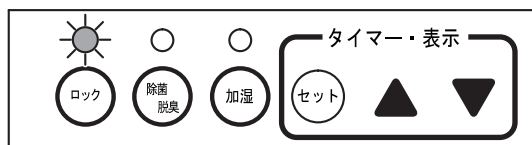
加湿運転終了後、3時間の乾燥運転をする機能です。アフターラン作動中は操作パネルの加湿ランプが点滅します。



4. 各部の名称と機能・安全装置の説明

4.3-5 ロック（誤操作防止）

運転ボタン以外を操作できないようにする機能です。ボタンは、1秒間の長押しでロック（ランプ点灯）、3秒間の長押しで解除（ランプ消灯）します。



4.3-6 入・切・24Hタイマー

設定した時刻に運転を開始・停止するタイマー機能です。設定パネルのセットボタン、▲▼ボタンで設定します。（セット方法は「5.2-2 時刻を設定する（9ページ）」、「5.3 入・切・24Hタイマーのセット（11ページ）」を参照してください。）

5. 使いかた

5.1 使用時の注意事項

5.1-1 運転前チェック



危険

電源プラグをコンセントから外した状態でチェックしてください。

- 製品が水平に固定されているかチェックしてください。
- 電源コンセントとアースの接続が、確実に行われているかチェックしてください。
- 製品または給排水管から水漏れがないかチェックしてください。

5.1-2 運転時の注意

(加湿運転する場合のみ)

製品外部にバルブがある場合は、バルブを開けてください。

5.2 運転の手順

5.2-1 運転の準備をする

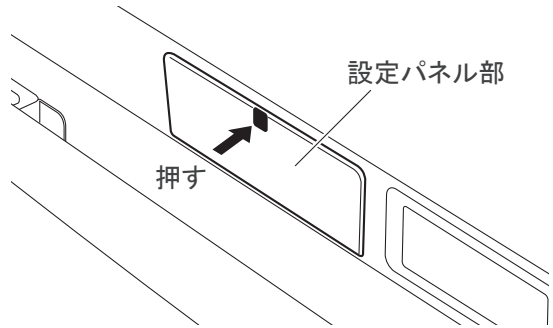
電源プラグをコンセントに差し込みます。

5.2-2 時刻を設定する

- (1) 設定パネルを開けてセットボタンを長押しし、液晶パネルに時刻設定モードを表示します。
- (2) セットボタンを押して「現在時刻」表示に切り替えます。
セットボタンを押すたびに、「現在時刻」「入タイマー」「切タイマー」と表示が切り替わります。
- (3) ▲▼ボタンを押して時刻を変更します。
▲▼ボタンを長押しすると時刻が早く進みます。
- (4) セットボタンを長押しして、時刻を確定し、時刻設定モードを終了します。

要点

設定パネルは黒い部分を一度押すと開き、閉めるときは押し込むと閉まります。(上部イラスト矢印部)



5.2-3 運転モードを選ぶ

設定パネルを開けて加湿・除菌、脱臭ボタンを押し、お好みの運転モードに設定してください。

要点

一度運転モードを設定すれば、運転の度に設定を行う必要はありません。

運転モード	ランプ表示
加湿	
除菌、脱臭	
加湿および除菌、脱臭	
送風	

要点

各モードの機能については「4.3 機能の説明 (7 ページ)」を参照してください。

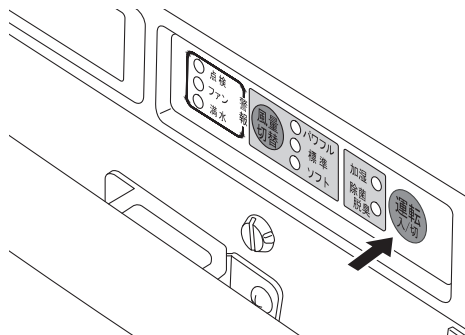
5. 使いかた

5.2-4 運転を始める

操作パネルの「運転 入／切」ボタンを押し、運転を開始します。

要点

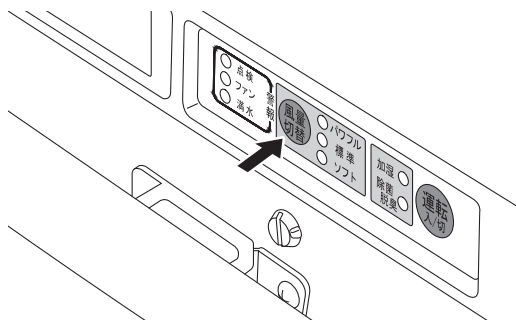
運転モードの変更は、運転中も可能です。



5.2-5 風量を調整する

操作パネルの「風量切替」ボタンを押し、風量を調整します。

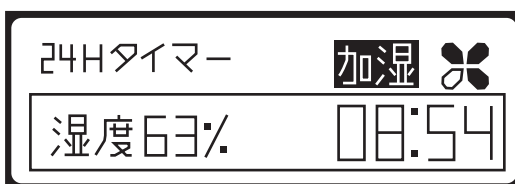
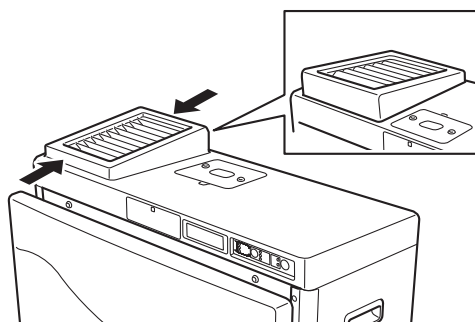
風量切替ランプが[ソフト]→[標準]→[パワフル]→[標準]と点灯し、風量が変わります。風量が多いほど加湿能力や除菌、脱臭能力、ホコリや花粉を除去する能力が上がります。



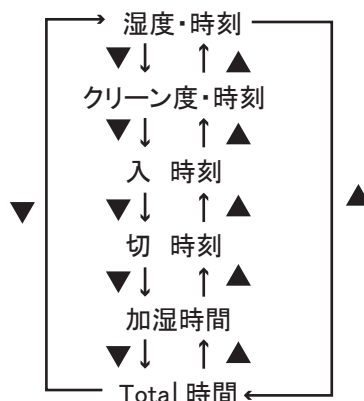
要点

吹き出し口はイラストの矢印部分を押して取り外し、前後左右に向きを変更することができます。また、ルーバーの方向も手動で変更することができます。

風が直接当たって寒い場所などで使用する場合は便利です。



液晶パネル下部に情報が表示されます。設定パネルの▲▼ボタンで表示を切り替えることができます。



5. 使いかた

クリーン度表示（現在のクリーン度を数字で表示しています）

クリーン度 1	ホコリがやや多い
クリーン度 2	ホコリが少しある
クリーン度 3	ホコリがほとんどない

5.2-6 運転を止める

運転中に操作パネルの「運転 入／切」ボタンを押し、運転を停止します。加湿運転直後は、アフターランを行います。（アフターラン約 3 時間）



注意

アフターランが終了するまで電源プラグをコンセントから外さないでください。

要点

アフターラン作動中に「運転 入／切」ボタンを押すと、通常運転に戻ります。

5.3 入・切・24H タイマーのセット

5.3-1 使用するタイマーを選ぶ

設定パネルのセットボタンを押して、セットしたいタイマーを表示します。セットボタンを押すたびに、「入タイマー」→「切タイマー」→「24H タイマー」→「表示なし」と切り替わります。

24Hタイマー

湿度63%

加湿

08:54

入タイマー	設定した時刻に運転を開始します。
切タイマー	設定した時刻に運転を停止します。
24H タイマー	入タイマー時刻に運転を開始し、切タイマー時刻に運転を停止します。

5.3-2 入・切タイマー時刻を設定する

- (1) 設定パネルを開けてセットボタンを長押しし、液晶パネルに時刻設定モードを表示します。
- (2) セットボタンを押して「入タイマー」または「切タイマー」表示に切り替えます。セットボタンを押すたびに、「現在時刻」「入タイマー」「切タイマー」と表示が切り替わります。
- (3) ▲▼ボタンを押して時刻を変更します。▲▼ボタンを長押しすると時刻が早く進みます。
- (4) セットボタンを長押しして、時刻を確定し、時刻設定モードを終了します。

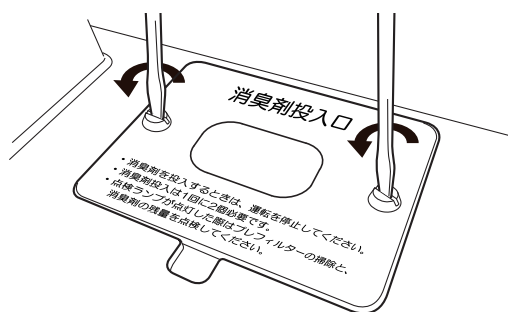
5.3-3 タイマーを解除する

設定パネルのセットボタンを押して、タイマー表示を「表示なし」にします。

5.4 消臭剤の使用

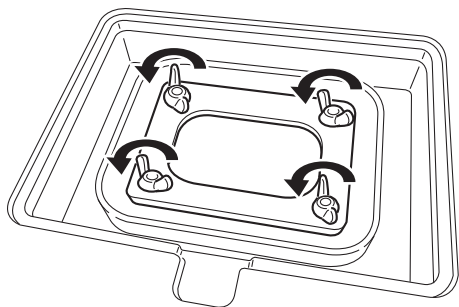
臭いが気になる場合は、付属の消臭剤を使用します。

- (1) ドライバー錠（2 箇所）をマイナスドライバーで外し、本体上部の消臭剤投入口を外します。

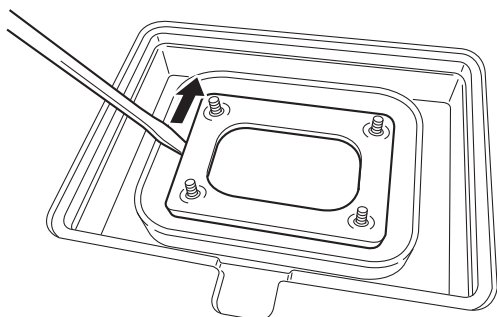


5. 使いかた

- (2) 蝶ナット（4箇所）を外し、消臭剤を入れるケースのフタを外します。



パッキンが貼りついて外れにくい場合は、下図のようにマイナスドライバーで軽くこじてください。



- (3) 消臭剤を2つ投入し、フタをします。
ケース→パッキン→透明フタ→金属フタ
→蝶ナットの順番で取り付けてください。
蝶ナットが緩んでいると水漏れを起こす
可能性があります。

6. お手入れ



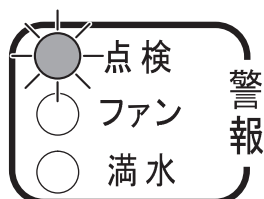
注意

必ず電源プラグをコンセントから外して実施してください。

点検ランプが点灯したときは、プレフィルターの掃除と消臭剤の残量点検をしてください。

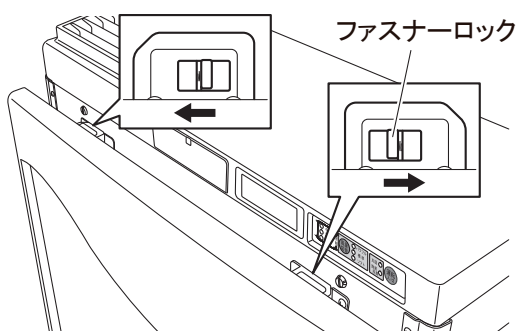
要点

点検ランプの点灯は、「運転 入/切」ボタンの長押し（3 秒間）で解除できます。

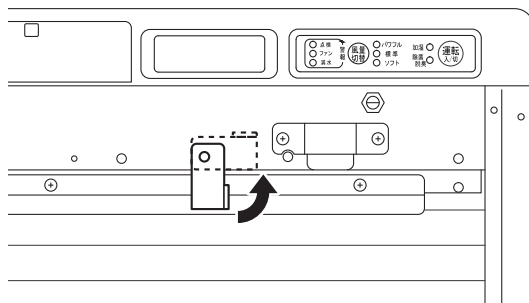


6.1 プレフィルターの掃除

- (1) ファスナーロックを外側に開いて化粧パネルを持ち上げて外します。



- (2) 留め金具を回してプレフィルターを外します。

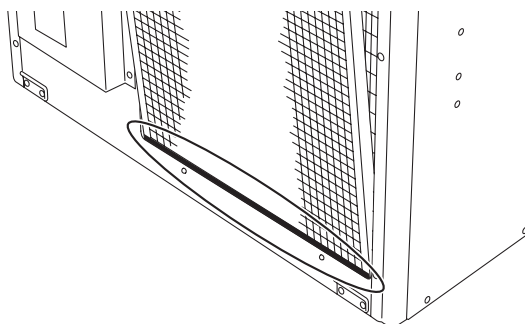


- (3) 掃除機でホコリを吸い取ります。汚れがひどいときは水洗いをしてください。プレフィルターが破れていたら交換してください。

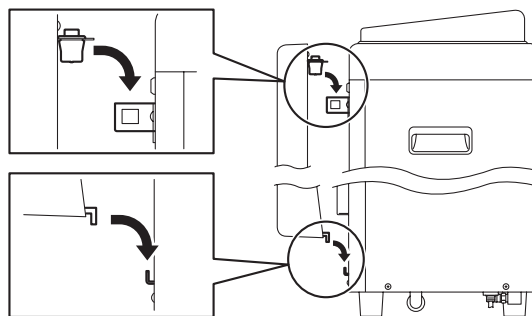
要点

プレフィルターを水洗いした場合は、よく乾かしてください。

- (4) 下側の溝に合わせてプレフィルターを取り付けます。



- (5) ファスナーロックが開いた状態で化粧パネルを持ち、下側のフックに合わせながら取り付けます。



6. お手入れ

6.2 消臭剤の点検

本体上部の消臭剤投入口から、消臭剤の残量を確認してください。

残りが直径 10mm 程度になったら、交換または追加してください。（追加方法は「5.4 消臭剤の使用（11 ページ）」を参照してください。）

7. 定期保守点検

部品交換基準

- 定期保守点検は長時間衛生的に、また、効率よく快適にご利用いただくために是非とも必要です。日常のお手入れとは別に保守点検業者に定期保守点検を依頼してください。
- 定期保守点検およびメンテナンス契約は、お買い上げの販売店または、弊社営業所にご相談ください。



注意

定期保守点検は、必ず保守点検業者に依頼してください。

No.	部品名	作業	掃除または交換の目安
1	プレフィルター	掃除	フィルター掃除ランプ点灯
2	給水ストレーナ	掃除	1 年
3	排水タンク	掃除	1 年
4	内部配管	掃除	1 年
5	オゾナイザー	掃除／交換	掃除：1 年／交換：故障時
6	散水ノズル	掃除／交換	点検時判断
7	オリフィス	交換	点検時判断
8	満水センサー	掃除	点検時判断
9	中性能フィルター	交換	2 年または 5800 時間
10	加湿エレメント	交換	2 年または 3000 時間
11	オゾンセンサー	交換	点検時判断

- No.9 中性能フィルターは異臭が出た場合も交換してください。
- 部品の交換は、液晶パネル情報表示部の加湿時間と Total 時間を参考にしてください。

8. 故障・異常時の処置

下表の処置方法で対処しても改善されない場合は、お買い上げの販売店または、弊社営業所へご連絡ください。その際には、製品の異常の状態と製品の型式名、製造番号をお知らせください。
(②仕様ラベル (3 ページ)、保証について (16 ページ) 参照)

8.1 警報の表示が点灯、点滅したとき

ランプ表示		原因	処置方法
ファン	点滅	ファンの故障	保守点検業者に連絡する
	点灯	排水タンクが満水	保守点検業者に連絡する
	点滅	センサーの故障	保守点検業者に連絡する

8. 故障・異常時の処置

8.2 警報表示以外の異常

現象	原因	処置方法
スイッチを入れてもファンが動かない	• 電源プラグが抜けている	• 電源プラグを差し込む
風量が少ない	• フィルターが詰まっている	• プレフィルターを掃除する
湿度が上がらない	• 窓や出入口の開閉が多い • 加湿能力に対し、部屋が広い • 給水バルブが閉まっている	• 窓・出入口の開閉を少なくする • 適用床面積を確認する • 保守点検業者に連絡する
湿度表示があっていない	• 湿度センサーにホコリが付着 • 被水や溶剤の付着、経時変化によるズレ	• 保守点検業者に連絡する
製品からの水漏れ	• 排水ホースが外れている • 給水配管の不良 • 製品が水平に保たれていない • 消臭ケースの蝶ナットが緩んでいる	• 排水ホースを接続する • 保守点検業者に連絡する • 製品を水平にする • 蝶ナットを締める
振動や騒音の発生	• 吹き出し口がしっかりはまっていない	• 吹き出し口をしっかりとめこむ • 保守点検業者に連絡する
異臭がする	• フィルターが詰まっている • 中性能フィルターが汚れている • 加湿エレメントに雑菌が繁殖している • 消臭剤が入っていない	• プレフィルターを掃除する • 保守点検業者に連絡する • 保守点検業者に連絡する • 消臭剤を追加する

9. アフターサービス

保証について

- この製品には、1年間の無償保証がついておりますので、製品保証書は大切に保管してください。製品保証書の製造番号欄に「仕様ラベル」に記載されている製造番号をご記入ください。なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、製品保証書を添えてください。
- 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - (1) 製品保証書に製造番号が記入されていないもの
 - (2) 中性能フィルター、加湿エレメント、以上の消耗品および部品
 - (3) 誤使用による故障
例) 電源 200 V 使用による電気部品の焼損
 - (4) 火災、浸水、落雷などの災害によるもの
 - (5) 腐食性ガスの発生する場所で使用した場合の部品の腐食
例) 畜舎などアンモニアなどの発生する場所
 - (6) その他、取扱説明書に記載してある以外の使い方による故障
- 無償修理期間経過後の修理については、販売店または、弊社営業所にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有償修理いたします。この製品の補修性能部品保有期間は、生産終了後 6 年です。
 - (1) この期間は経済産業省の指導によるものです。
 - (2) 性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

製品保証書 [保証期間 1年]

型式：	製造番号： —
お客様記入欄	販売店様記入欄
お名前	販売店様名称 印
ご連絡先	販売店様連絡先
ご購入日	

弊社は、上記の製品単体について、下記の通り保証いたします。

- (1) 保証期間中に、正常な使用状態において生じた、製造上の責任による故障又は損傷につきましては、無償修理をいたします。
- (2) 次の場合は、保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - (イ) 取扱説明書に記載してある以外の使い方、誤った使用、過失及び整備、保管の不備により生じたと認められる故障等
 - (ロ) 納入後の転倒、衝撃、及び改造や純正以外のオプション、部品の使用が原因で生じたと認められる故障等
 - (ハ) 火災、地震、台風、落雷等の災害により生じたと認められる故障等
 - (ニ) 使用損耗や経年変化により発生する現象
 - (ホ) ご購入の販売店や弊社指定のサービス店以外で修理されて故障した場合
 - (ヘ) その他上記に準ずるもの
- (3) 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - (イ) 保証書の提示がない場合
 - (ロ) 弊社規格内の製品の性能等が、一般的に認められる範囲である場合（例：運転音、燃料等の消費量など）
 - (ハ) 弊社製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害（遺失利益の損害、事業の機会の損失、その他金銭的損害等）
- (4) この保証書は、お買上げ時の領収書などの購入履歴のわかるものと併せて保管して下さい。
- (5) 保証書を紛失された場合の再発行は致しかねますのでご注意ください。
- (6) 本機の保証は日本国内で使用される場合に限りです。【 This warranty is valid only in Japan. 】

静岡製機株式会社



製品の修理、お取り扱い、お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店または、弊社営業所にお申し付けください。

静岡製機株式会社

北海道営業所	〒 007-0804	札幌市東区東苗穂 4 条 3 丁目 4 番 12 号 TEL (011) 782-5294 (代) FAX (011) 782-8258
東北営業所	〒 989-6136	宮城県大崎市古川穂波 3 丁目 1 番 14 号 TEL (0229) 23-7219 (代) FAX (0229) 21-1464
関東営業所	〒 175-0094	東京都板橋区成増 1 丁目 17 番 2 号 TEL (03) 6904-3786 (代) FAX (03) 6904-0302
中部営業所	〒 437-1121	静岡県袋井市諸井 1300 TEL (0538) 23-1605 (代) FAX (0538) 23-1608
関西営業所	〒 661-0032	兵庫県尼崎市武庫之荘東 2 丁目 10 番 8 号 TEL (06) 6432-7880 (代) FAX (06) 6432-7487
九州営業所駐在	〒 835-0004	福岡県みやま市瀬高町山門 1841-1 TEL (0944) 88-9136 FAX (06) 6432-7487
産機営業部	〒 437-1121	静岡県袋井市諸井 1300
産機営業企画課		TEL (0538) 23-2825 FAX (0538) 23-2890